

# 新たなる閃きと挑戦

新たなる閃きと挑戦をモットーに本学シンフォニック ウインド アンサンブルが、本学講師 中橋愛生による委嘱作品（世界初演）を含む楽曲たちを奏でます。まだ誰も見たことのないアンサンブルの世界をご堪能ください。



## 井手 詩朗 IDE Shiro (指揮)

1984年より東京佼成ウインドオーケストラでプロとしてのキャリアをスタートし首席ホルン奏者をつとめ、常任指揮者F.フェネルの薫陶のもと数々のコンサート、レコーディングをこなす。1988年に小澤征爾率いる新日本フィルハーモニー交響楽団に移籍し首席ホルン奏者として数々の名指揮者、ソリスト達とのコンサート、レコーディングは記憶に新しい。2015年3月を以って27年余り在籍した新日本フィルハーモニー交響楽団を退団後は教育の分野で精力的に活動する。国立音楽大学卒業。1985年第2回日本管打楽器コンクールホルン部門第3位、1988年第5回同コンクール第2位。1990年第1回PMFに参加。ヤマハ株式会社より2015年に発売開始されたフラッグシップモデルYHR-869D.GDは本人プロデュースで大変好評を博している。現在、国立音楽大学副学長、教授、法人理事。札幌大谷大学客員教授。PMF 芸術企画会議、組織委員会理事を務める。

## 田中 靖人 TANAKA Yasuto (指揮)

1988年国立音楽大学卒業。学内にて矢田部賞受賞。第1回日本管打楽器コンクール第2位、第4回日本管打楽器コンクール第1位を受賞。1990年東京文化会館でデビューリサイタルを開催。以来国内外でリサイタルなど幅広い活動を行っている。ソリストとしてオーケストラとの共演も多数。ソロ・アルバム「管楽器ソロ曲集・サクソフォーン」、「ラプソディ」、「サクソフォビア」、「ガーシューインカクテル」、「モリコーネパラダイス」をリリース。サクソフォン四重奏団トルヴェール・クワルテットのメンバーとして活躍し、これまでに10枚を超えるアルバムをリリース。2001年文化庁芸術祭レコード部門"大賞"を受賞。(財)地域創造主催の「公共ホール活性化事業」のアーティストとして、リサイタル、アウトリーチも意欲的に行っている。1989年から2023年まで東京佼成ウインドオーケストラサクソフォン奏者。2011年からはコンサートマスターを務めた。国立音楽大学教授。

## 中橋 愛生 NAKAHASHI Yoshio (作曲)

1978年生。東京音楽大学作曲指揮専攻および同大学院を首席で修了。2002年、日本音楽コンクール作曲部門（管弦楽作品）第3位。2007年度、日本管打・吹奏楽学会アカデミー賞（作編曲部門）。2009年および2010年、日本吹奏楽指導者協会「下谷奨励賞」。作品は東京佼成ウインドオーケストラ、シエナ・ウインド・オーケストラ、陸上自衛隊中央音楽隊などによって初演されている。2008年4月よりNHK-FM「吹奏楽のひびき」パーソナリティも務める。2024年より東京佼成ウインドオーケストラ楽芸員。これまでに作曲を吉田峰明、池辺晋一郎、西村朗の各氏に、指揮法を汐澤安彦氏に師事。また2000年より6年間、湯浅譲二氏のゼミ生および助手として薫陶を受ける。現在、東京音楽大学教授、国立音楽大学・日本大学芸術学部各講師、日本バンドクリニック委員会顧問、日本管打・吹奏楽学会理事、21世紀の吹奏楽“響宴”実行委員、日本管楽芸術学会正会員。

## 【国立音楽大学シンフォニック ウインド アンサンブルとは】

国立音楽大学シンフォニック ウインド アンサンブルは、かつての本学夜間部（二部）の学生により組織された吹奏楽団で、大阪泰久、大橋幸夫の両氏の指導のもと、昼間部の「プラスオルケスター」と共に精力的に活動していた。第1回定期演奏会は1972年12月4日に杉並公会堂で開催され、第2回目以降は「邦人作品の夕べ」と題して、大栗裕、藤田玄播、兼田敏、保科洋、名取吾朗などといった、現在吹奏楽のレパートリーとして定着している邦人作曲家によるオリジナル作品や委嘱作品をいち早く取り上げ、邦人作品の発掘・開発・普及と、日本の吹奏楽の発展に大きく寄与してきた。なかでも創立時から約30年の長きに亘り指導と指揮に携わった大阪泰久（本学名誉教授）の功績はあまりにも大きい。その後79年に夜間部は廃止されたが、「シンフォニック ウインド アンサンブル」の名称は残り、現在まで活動を続けている。指揮はこれまでに大阪・大橋両氏のほかに淀彰、三浦徹、新田ユリの各氏が歴任し、過去には世界的に有名なイーストマン・ウインド・アンサンブルの指揮者マーク・スキヤッタディも度々客演指揮者として登場、またソリストとしてはトロンボーンの名手ジャック・モージェをはじめ、千葉馨（ホルン）、松居直美（オルガン）、石田泰尚（ヴァイオリン）を招いたほか、本学教員や卒業生とも多数共演。現在は井手詩朗（本学教授）の指揮によってその伝統が受け継がれ、現在も毎年作品を委嘱し、日本の吹奏楽の発展とさらなる向上に情熱を注いでいる。さらに本年度は新たに田中靖人（本学教授）も指揮に加わり、さらなる可能性を切り開く。

### 【創立100周年募金受付中です】

一定額以上ご寄付いただいた方は演奏会にご招待します。音楽文化人育成と音楽芸術振興を通じた社会への貢献に向けて皆様のご支援をお願いします。

<https://go.kifu.fm/kunitachi/>

国立音楽大学経理課（寄付金係）

TEL：042-535-9528



### 【本演奏会に際して】

- 本演奏会は、会場の観客の皆様を撮影する機会があること、および収録された映像がインターネット、DVDなど各媒体で公開されることをあらかじめご了承ください。
- 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。
- やむを得ない事情での公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル、変更、払い戻し等はできません。
- やむを得ない事情により、曲目・出演者・会場・日程等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 会場内での写真撮影、録音、携帯電話の使用は固くお断りします。
- ご来場前に本学公式Webサイトをご確認の上、お越しください。